



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月8日

上場会社名 WASHハウス株式会社

上場取引所

東・福

コード番号 6537

URL http://www.wash-house.jp

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 児玉 康孝

問合せ先責任者(役職名) 専務取締役

(氏名) 阿久津 浩

(TEL) (0985)78-4001

四半期報告書提出予定日 2021年11月9日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	1,544	3.0	△115	—	△117	—	△114	—
2020年12月期第3四半期	1,499	△6.0	△141	—	△130	—	△136	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 △101百万円( —%) 2020年12月期第3四半期 △132百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	△16.67	—
2020年12月期第3四半期	△19.79	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	3,954	1,770	43.0
2020年12月期	4,103	1,871	44.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 1,699百万円 2020年12月期 1,805百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,040	△6.5	△157	—	△153	—	△159	—	△23.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	6,898,800株	2020年12月期	6,898,800株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	—株	2020年12月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	6,898,800株	2020年12月期3Q	6,883,140株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いているなか、感染拡大の収束や景気の持ち直しが期待されるものの、国内外の経済に与える影響について慎重に見定めなければならない不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、コインランドリーの利点を普及する目的として、テレビCM等により新たな店舗利用者数の拡大を図る広告施策を積極的に行うとともに、「プラットフォームとしてのコインランドリー事業」の推進に取り組んでおります。

1つめは、洗剤を製造する工場として宮崎工場を2月に落成し、試験運用を経て九州内の店舗から順次供給先を拡大しており、将来の大幅なコスト削減を目指しております。

2つめは、洗濯中に必ず待ち時間が発生するというコインランドリーの特徴を活かし、反応率の高い広告枠を提供するWASHハウスアプリ広告システムによる配信を運用中であります。

3つめは、このWASHハウスアプリによる「広告システム」と「相互送客システム」により、8月に特許を取得いたしました。これは当社が創業当時より実現を目指している「洗濯を無料で提供する」ことにかかる特許取得であり、新規出店を中心とした当社の収益が、WASHハウスアプリをご利用いただくことによる収益へと将来変わるとともに、従来のコインランドリーのあり方を大きく変える転換点となるものと考えております。

日本国内の店舗展開としましては、既存エリア及び新規エリアでの営業活動に加え、フランチャイズ（以下、「FC」という）オーナーの新規開拓も行いながら、チェーンストア様敷地内へのFC店舗の出店を中心に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間のFC店舗の新規出店数は12店舗となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,544,234千円（前年同四半期比3.0%増）となり、営業損失は115,332千円（前年同四半期は141,160千円の営業損失）、経常損失は117,218千円（前年同四半期は130,056千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は114,990千円（前年同四半期は136,221千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当社グループはコインランドリー事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメントの情報を省略しております。なお、コインランドリー事業における主要な部門別の業績は次のとおりであります。

## ① FC部門

当第3四半期連結累計期間におけるFC店舗数の推移は以下のとおりであります。

FC新規出店数は12店舗となった結果、売上高は314,335千円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

（単位：店舗）

エリア	2020年12月31日 現在のFC店舗数	期中増減	2021年9月30日 現在のFC店舗数
関東エリア	37	△3	34
中部エリア	11	—	11
関西エリア	25	—	25
中国エリア	64	(注)1	64
四国エリア	23	1	24
九州エリア	414	(注)1	415
合計	574	△1	573

(注) 当第3四半期連結累計期間において、中国エリアでは2店舗を新規出店しましたが、既存FC店舗のうち、2店舗はオーナー様事情により退店となったため、期中増減はありませんでした。また、九州エリアでは9店舗を新規出店しましたが、既存FC店舗のうち3店舗を直営店とし、既存FC店舗のうち、5店舗はオーナー様事情により退店となったため、期中増減は1店舗の増加となっております。

## ② 店舗管理部門

当社はすべてのFC店舗についてコインランドリー店舗の管理を受託しており、ストック収入を構成する要素となっております。この結果、売上高は774,218千円（前年同四半期比0.4%減）となりました。

## ③ 直営部門その他

当第3四半期連結累計期間の直営店舗数は前年同四半期末比で8店舗増加し61店舗となっております。この結果、売上高は455,680千円（前年同四半期比7.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ148,952千円減少の3,954,594千円となりました。これは主に、流動資産のたな卸資産が57,133千円、有形固定資産の建物が274,453千円、土地が53,897千円、無形固定資産が83,622千円増加した一方で、流動資産の現金及び預金が381,881千円、その他有形固定資産が274,209千円減少したこと等によるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ47,309千円減少の2,184,454千円となりました。これは主に、流動負債の1年内返済予定の長期借入金が40,404千円、買掛金が22,821千円、固定負債の長期借入金が302,660千円増加した一方で、流動負債の短期借入金が338,000千円、預り金が80,303千円減少したこと等によるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ101,643千円減少の1,770,140千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失114,990千円の計上があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月8日に公表いたしました2021年12月期通期連結業績予想を修正しております。

詳細は、2021年11月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2022年度につきましては、当社収益構造の転換点となる見込みであります。

WASHハウスアプリは、サービス向上及び広告収入を得られる3つのシステムから構成されており、累計ダウンロード数は16万を超え、現在も順調に増加しております。

このWASHハウスアプリが大きな基盤となったことを受け、2022年度から当社の収益構造が大きく変化いたします。

転換点1つめは、「FCオーナー様収受広告費の内製化」であります。

当社アプリの利用率上昇を受け、従来オーナー様から収受している広告分担金（月額3万円）の一部をWASHハウスアプリでの広告に切替えます。これにより、2022年度は1億5千万円程度のストック利益の増加が見込まれます。

転換点2つめは、「WASHハウスアプリ広告配信」であります。

洗濯中に必ず待ち時間が発生するというコインランドリーの特徴を活かし、反応率の高い広告枠を提供するWASHハウスアプリ広告システムによる配信を運用中であり、2022年度以降、広告事業を伸ばしてまいります。

転換点3つめは、「洗剤の内製化」であります。

洗剤を製造する工場として宮崎工場を2月に落成し、試験運用を経て九州内の店舗から順次供給先を拡大しており、2022年度は本格稼働に伴い年間2千万円程度の利益が発生すると見込まれます。

当社は今後もコインランドリー事業のプラットフォーム化を進めることで、新規出店を中心とした当社の収益が、WASHハウスアプリをご利用いただくことによる収益へと将来変わるとともに、従来のコインランドリーのあり方を大きく変える転換点になるものと考えております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,211,016	829,134
売掛金	112,933	109,613
営業貸付金	625,856	644,094
たな卸資産	49,067	106,201
その他のたな卸資産	214,376	213,236
その他	134,828	135,542
貸倒引当金	△10,800	△12,900
流動資産合計	2,337,278	2,024,923
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	366,488	640,942
土地	182,163	236,060
その他（純額）	794,274	520,064
有形固定資産合計	1,342,926	1,397,067
無形固定資産	29,981	113,604
投資その他の資産	393,360	419,000
固定資産合計	1,766,268	1,929,671
資産合計	4,103,547	3,954,594
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	59,417	82,239
短期借入金	※ 538,000	※ 200,000
1年内返済予定の長期借入金	40,080	80,484
未払法人税等	17,601	8,134
預り金	349,805	269,502
賞与引当金	4,986	25,092
その他	224,073	170,064
流動負債合計	1,233,964	835,517
固定負債		
長期借入金	129,860	432,520
預り保証金	821,133	817,949
資産除去債務	32,687	34,563
その他	14,118	63,903
固定負債合計	997,799	1,348,937
負債合計	2,231,763	2,184,454

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	995,827	995,827
資本剰余金	925,827	925,827
利益剰余金	△120,270	△235,261
株主資本合計	1,801,383	1,686,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△24	5
為替換算調整勘定	4,637	13,058
その他の包括利益累計額合計	4,613	13,064
非支配株主持分	65,785	70,682
純資産合計	1,871,783	1,770,140
負債純資産合計	4,103,547	3,954,594

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	1,499,124	1,544,234
売上原価	1,020,900	1,083,180
売上総利益	478,224	461,053
販売費及び一般管理費	619,384	576,386
営業損失(△)	△141,160	△115,332
営業外収益		
受取利息及び配当金	562	765
預り保証金精算益	9,000	3,010
その他	5,939	4,227
営業外収益合計	15,502	8,002
営業外費用		
支払利息	1,297	5,387
投資有価証券評価損	1,071	—
その他	2,028	4,501
営業外費用合計	4,398	9,889
経常損失(△)	△130,056	△117,218
税金等調整前四半期純損失(△)	△130,056	△117,218
法人税、住民税及び事業税	8,320	5,938
法人税等調整額	△1,270	△7,481
法人税等合計	7,050	△1,542
四半期純損失(△)	△137,106	△115,676
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△884	△685
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△136,221	△114,990

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△137,106	△115,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	801	29
為替換算調整勘定	3,743	14,003
その他の包括利益合計	4,545	14,033
四半期包括利益	△132,560	△101,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△133,107	△106,539
非支配株主に係る四半期包括利益	547	4,896

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

## ※当座貸越

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
当座貸越限度額	1,308,000千円	800,000千円
借入実行残高	538,000千円	200,000千円
差引額	770,000千円	600,000千円

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

当社グループはコインランドリー事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

当社グループはコインランドリー事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。